

# きのくに自主防災

第15号(平成27年1月号)

<発行元>

和歌山県自主防災組織情報連絡会事務局(和歌山県総合防災課内)

## 県内各地で避難所運営リーダー養成講座を開催!

和歌山県では、今年度より避難所運営リーダー養成講座を県内各地で開催しています。

この事業は、自主防災組織及び市町村職員を対象に避難所運営訓練と講座を実施し、避難所運営に対する課題対応能力を身につけ、災害時の避難所運営を円滑にすることを目的としています。

昨年の6月から12月までで美浜町、北山村、印南町、湯浅町、かつらぎ町の5町村で計6回(かつらぎ町は、2回開催)開催しました。

今回は、9月7日(日)に湯浅町にて開催された講座の様子について紹介します。当日は、講師として株式会社エクスプラス災害研究所の伊永勉所長、谷優子囑託研究員をお招きし、大規模災害時における避難所開設のための基礎知識や事前の備えといった対策についてご講義いただき、その後に行われたワークショップにおいては、避難所運営本部に設置される各班の活動についてアドバイスいただくとともに講評をいただきました。

ワークショップでは、避難所運営を疑似的に体験する避難所運営ゲーム【HUG】(ハグ)を実施しました。HUGでは、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情等が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験することで避難所で起こりうる様々な課題に対応力を養うことができます。

参加者は、避難者の受け入れや避難所でのペットの取り扱い、救援物資の管理など矢継ぎ早に寄せられる課題に対して、熱心にグループで討議しつつ、最良の対応を模索していました。

ワークショップ後に行ったグループ発表では、「傷病者の部屋割りを考えるためには、避難所にどんな設備があり、何が役に立つのか知っておく必要がある。」等今後、地域であらかじめ備えておくべき課題などについて意見が発表されました。



(研修会の会場の様子)



(HUG実施中の様子)



(グループ発表の様子)

## ～ 県内自主防災組織等の活動紹介 ～

### 丸栖西自治区自主防災会（紀の川市）

丸栖西自治区自主防災会は、2007年より立ち上げが始まり、自治区を構成する8つの町内会すべてに自主防災組織を設置しました。定期的に研修会を開催し、自主防災組織の必要性や防災情報の共有などの机上学習、初期消火訓練などを行ってきました。今年度は、5月18日(日)に安否確認訓練、6月8日(日)に避難所体験及び炊き出し訓練を実施しました。

#### ○安否確認訓練の実施

安否確認訓練では、午前中と午後の2回、それぞれ4つの町内会単位に分けて実施しました。

丸栖西自治区では、「向こう三軒両隣作戦」と称し、あらかじめ区内を約5世帯ごと86ブロックに分けてブロック長を置き、互いに安否確認をする方式を採用しており、素早く安否を確認できる体制を作っています。

訓練当日は、開始時間に防災行政無線から放送が流れると約800名の参加者は、声を掛け合いながら区内の一時避難場所を目指しました。一時避難所にたどり着くとブロック長による安否確認が行われました。



(安否訓練の様子)

#### ○避難所体験訓練の実施

避難所体験及び炊き出し訓練では、午前10時に自治会館に集まるとまず避難所段ボール間仕切り体験を行いました。災害時には、避難所にたくさんの避難者が押し寄せ、場合によっては、長期間にわたってそこでの生活を余儀なくされます。その場合、たくさんの人が共同生活を行うため、肉体的にも精神的にも大きな負担がかかってしまうことが予想されます。そこで個人のプライバシーを守り、少しでもストレスを軽減する必要があります。

今回の体験では、避難時においても比較的手に入りやすく、加工も容易な段ボールでの間仕切り作りを行いました。参加者は、力を合わせて高さ1m20cm程度の間仕切りを作り、中に座ったり、立ってみたりして目隠しの効果を体感している様子で、あるとないとでは、大きな違いだと話す方もたくさんいました。その後に行われた炊き出し訓練では、災害時に限られた道具で急場をしのがなければならない状況を想定しての訓練を行いました。今回は、日赤奉仕団の協力のもと、ペール缶、ブロック、金網、災害救援用炊飯袋を用いて簡易なコンロを作り、災害備蓄を調理し、カレーを作り、参加者で試食をしました。今後も自らで工夫し、避難生活をより過ごしやすいものとするなど災害時の対応力の強化を図っていきたいと思います。



(段ボール間仕切り体験の様子)



(炊き出し訓練の様子)

## 西山東地区防災会（和歌山市）

西山東地区は、和歌山市の内陸部に位置し、津波による浸水の危険性は低いものの、地震や土砂災害、河川氾濫といった災害に見舞われることに危機感を持っています。平成25年度には、防災・減災協議会が設立され、防災マニュアルの作成の検討や避難訓練や講演会、ワークショップ等の取り組みの企画や河川・用水・ため池改修などそれぞれの分野ごとに3つの部会を設け、約70名の体制で地区の防災力の向上を図ってきました。

また、平成26年7月末に発生した台風11号の後には、手分けをし、**自分たちの足で見て回り、地区内の損害発生箇所や水害の被害箇所をいち早くまとめ、市に提供するなど自分たちの地域を自分たちで守るための取り組みを行いました。**

### 〇ふれあい・ぼうさい祭の開催

今回は、様々な取り組みの中から今年度から開催した取り組みの1つを紹介します。

**西山東地区では、「住民交流による心の結びつきの深化」、「親と子の共育コミュニティの場」、「安心・安全な地域づくりにむけ、防災意識の高揚と備えの働きかけ」を目的として平成26年11月8日(日)に「ふれあい・ぼうさい祭」を開催しました。**

このイベントは、自治会や小学校育友会などの地域の各種団体と防災・減災協議会が一体となって参加者500名以上を目標に約2か月前から準備に取り掛かりました。その名のとおり、たくさんの人が気軽に防災にふれあうことができるように体験型の催しを工夫をした結果、当日は、700名を超える参加者で大いに賑わいました。



(防災体操の様子)

中でも地区の特産品であるタケノコと絡めて、地域の資源である竹を使って食器を作る体験コーナーは、この地区ならではの災害への備えを学べるということで大人から子供まで広く人気を博していました。

**今回のイベントには、たくさんの親子連れが来場しており、楽しみながら防災にふれあう姿を見ると若年層にも災害への備えの大切さを伝えることができたのでは、ないかと思っています。**

今年度からの新たな取り組みで開催に当たり、様々な面で苦労が多かったのですが来年度以降もこういった取り組みを通じて安心・安全地域を作り上げるよう地区で力を合わせて頑張っていきます。



(竹細工作り体験の様子)

### ☆当日の主なプログラム

- 〇防災体操
- 〇起震車による地震体験
- 〇「稲むらの火」紙芝居
- 〇炊き出し
- 〇救命・救助体験(AED体験・応急手当講座・手作り担架作成)

# 「出張！減災教室」 地域で防災を学ぼう！

県では、県内小・中・高等学校や地域の学習会などを対象に体験型の「出張！減災教室」を開催していますので、ぜひご利用ください。

## 【対象】

- (1) 県内の小・中・高等学校等
- (2) 自主防災組織、自治会などの地域団体等

## 【実施期間及び日時】

- (1) 実施期間：平成27年3月31日まで
  - (2) 実施日時：原則9時から17時（年末・年始除く）
- ※ 講師の派遣や、資料配布等の費用は県が負担。  
ただし、会場の手配やそれに係る費用については、申込者の負担になります。

## 【お申し込み】

和歌山県庁総合防災課防災企画班  
電話：073-441-2271

## 実施メニュー

- ・「地震体験車ごりよう君」による地震体験
  - ・地震・津波についての基礎講座
  - ・家具固定に関する講座・実習
  - ・避難所運営ゲーム等を用いた防災学習
  - ・構造模型を用いた住宅の耐震化講座
- ※家具固定施工事業者の登録・紹介制度についてご案内しています。



## ◆ 防災わかやまメール配信サービス

県内の気象情報や地震・津波の警報・注意報などさまざまな情報をパソコン、携帯電話などに電子メールでお知らせします。

下記の配信サービス登録用QRコードからぜひご登録ください。



防災わかやまメール配信  
サービス登録用QRコード  
[regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp](mailto:regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp)  
上記アドレスに空メールを送信してください。

## ◆ 避難先の検索

### ・避難先の位置確認は「Yahoo!ロコ」で！

パソコンや携帯電話のインターネットから避難先を検索できます。  
Yahoo!JAPAN が提供する Yahoo!ロコから、「ジャンル一覧」→「暮らす」→「避難所、避難場所」で検索してください（登録不要）

### ・iPhone やスマートフォンをお持ちの方は

アプリをアップストアや Play ストアで検索し、ダウンロードすると、GPSにより現在地から避難先までのルート検索ができます。



ファーストメディア  
「全国避難所ガイド」  
<http://www.hinanjyo.jp/>



イサナドットネット  
「逃げナビ～和歌山防災～」  
<http://bosaiapp.jp/>

## 「きのくに自主防災」に掲載する防災活動事例を募集しています！

「きのくに自主防災」では、地域で防災活動に取り組まれている方々の活動事例を募集しています。

紀伊半島大水害の体験談や学校と連携した防災活動など特色ある活動事例などをご紹介いただける場合は、下記の電話番号までご連絡をお願いします。

※ 紙面の都合上によりご紹介いただいたものすべてを掲載できない場合もございますので、予めご了承ください。

## 【お問い合わせ先】

和歌山県危機管理局総合防災課 防災企画班 TEL：073-441-2271 FAX：073-422-7652